



# 三春中学校だより

第 39 号

発行日 平成 30 年 10 月 30 日

発行所 三春町立三春中学校

電話 0247-62-2181 F A X 0247-62-6978

E-mail miharu-j@fcs.ed.jp

【教育目標】『三春に暮らす生徒一人ひとりに、将来に対して喜びと生きがいのある人生を主体的に創造する力を育み、地域に信頼され、ひいては、国際社会に貢献できる人材を育てる』

## 【不審者による事故の未然防止を！ ～県中教育事務所よりの指導がありました。～】

平成 30 年 10 月 12 日付で、県中教育事務所より、『不審者による児童生徒事故の未然防止について』という文書が、三春町教育委員会を經由して届きました。以下に示す内容を念頭に、登下校時の安全・安心について指導してまいります。ご家庭におかれましてもご指導をお願いします。

### 〈登下校時〉

○一人での行動をできるだけ避ける。 ○人通りの多い明るい道路を通る。 ○防犯ブザー・ホイッスル等を携帯する。 ○知らない人にはついていかない。 ○知らない人の車には絶対に乗らない。 ○被害に遭いそうになったら大声で助けを求め、すぐに逃げる。 ○何かあったら必ず保護者や先生に知らせる。 ○部活動等終了後は、すぐに、できるだけ複数で帰る。

### 〈帰宅後〉

○外での一人遊びをしない。 ○『誰と』『どこで』『いつ帰るか』を家人に伝え出かける。



## 【バスコースの安全・安心！～下校スクールバスに同乗し、コースを確認しています。～】

文化祭繰り替え休業明けの 10 月 23 日（月）から、スクールバスの下校の出発時間が 17：30 になりました。それに伴い、日没が早くなる中での安全・安心の確認のため、下校スクールバスに同乗させていただいています。23 日（火）1 号車、25 日（木）2 号車、26 日（金）3 号車に同乗しました。

運転手さんのお話では、これからの時期、暗さや凍結等に伴う事故に注意することが必要だと話されていました。各停留所まで迎えに来ていただいているみなさん、ありがとうございます。暗さ、対向車のライトのまぶしさ、狭い道や踏切でのすれ違い・交差など、危険はそこかしこにあふれていますので、これまでどおり、登下校時の安全・安心に万全を期してまいります。また、気になったことも。スクールバスとはいっても公共の交通機関です。世間では、電車の中で携帯で話をしたり友達と大声でおしゃべりをしたりと、一緒に乗っている人たちの迷惑をかえりみない言動もあると耳にしましたが、同乗した本校のスクールバスは、ほとんどの利用者がそれをわきまスクールバスを利用していました。いつも座席を譲ってくれたりお話を夢中になる友達を他の子が気づかせてくれたりなどできていました。スクールバス利用に際しては、公共の交通機関の過ごし方も指導します。一人ひとりの生徒のみなさんが、“スクールバスは公共の交通機関”という意識と態度をもって、さまざまな公共機関で、みんなが気持ちよく過ごせるよう継続して指導するなど、日没が早くなる中で、交通安全やみんなが気持ちよく利用できるスクールバス運行であり続けます。



**【充実した『HARU FES』！ ～その取り組みの成果を今後の糧として～】**

生徒会並びに学校のとても大きな行事『HARU FES』が終わり1週間がたちました。今回の文化祭で生徒は、たくさんのかげがえのない学びを経験しました。時間の使い方、計画的な行動、思いやり、粘り強さ、繰り返しと積み重ね、目標や友の大切さ、相手意識、人の温かさ、ひたむきさ、心の豊かさ、知識、我慢、くやしき、協調、ハーモニー、努力、熱狂、へこたれない力など、どれもこれも、人が成長していく上で、かけがえのない学びです。体験したからこそ感じ、学ぶことのできることもあります。“為すことから学ぶ”大切な教育活動の一環です。

文化祭での学びが到達点ではなく、それまでの学びを文化祭で発揮し、文化祭で学び直し、さらに文化祭で学んだことを次の生活に生かしていくという繰り返しと積み重ねを通して、『社会的自立』にむけて階段を上っていくことが学校の学びでもあります。

子どもたちのこれまでのがんばりとこれからの繰り返しと積み重ねに、ご声援をお願いいたします。



**【特設合唱部校内ファイナルコンサート！ ～部長さん、とりまとめご苦労様でした。～】**

10月29日(月)の昼休み、CGにおいて、特設合唱部の校内ファイナルコンサートが開催されました。大階段上に集合した合唱部の面々は、発声練習の後、これまで取り組んできた3曲を熱唱、観衆から期せずしてあがったアンコールの声と拍手に、急遽、ドラえもんの曲を演奏し、平成30年度の活動に一区切りをつけました。

校内にうつくしい歌声や音楽があふれる学校づくりは、ぜひ実現させたい夢でもありました。今年度の特設合唱部発足当時に校長室に流れてくる歌声は、必ずしも、“心一つに”と言えるほどまとまりのあるものではありませんでしたが、練習を積み重ね、次第に、かつ着実に、“近くで聞いてみよう”と思わせる演奏になってきました。

もちろん、顧問の先生のご指導あつてのものかとは思いますが、その合唱部・特設合唱部をまとめ、導いてくれた部長さん、これまでありがとうございました。部長さんのがんばりに他の部員が応える中で、美しい演奏につながる事ができました。特に、校長室は、いつもドアを開けてあるため、練習している歌声がよく聞こえ、それが大きな楽しみの一つでした。来年も再来年もそんな美しい歌声が校内に響き渡ることを心より願います。

10月31日(水)には、町の音楽祭が、『まほら』において行われます。合唱部、吹奏楽部の演奏を楽しみにしています。

